

弥生時代と古墳時代をつなぐモノ

古代国家形成史上

大阪府立弥生文化博物館
令和7年度秋季特別展

— DENSEI —



重要文化財
黒塚古墳出土
三角縁神獣鏡
〔文化庁(奈良県立
橿原考古学研究所
附属博物館保管)〕

紫金山古墳出土
方格規矩四神鏡
〔京都大学考古学研究室
(大阪府立近つ飛鳥博物館保管)〕



重要文化財
大和天神山古墳出土
方格規矩四神鏡
〔奈良国立博物館〕



兵庫県指定文化財
勝福寺古墳出土
画文帯神獣鏡
〔川西市〕

2025年
10月11日(土) ~
12月7日(日)

開館時間／午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日／毎週月曜日
(ただし10月13日、11月3日、24日は開館)

入館料／一般650円
65歳以上・高大生450円
●中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方と
その介助者1名は無料
●20名以上の団体は団体割引料金

□主催／大阪府立弥生文化博物館・毎日新聞社
□協力／国立大学法人鳥根大学
□後援／泉大津市・泉大津市教育委員会
和泉市・和泉市教育委員会



大阪文化資源
魅力向上事業



卑弥呼と出会う博物館

大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

指定管理者：AKN共同事業体

詳しくは当館の
ホームページまで！



最大の難問にいどむ



山中でみつかった銅鐸や古墳から発掘された銅鏡など、考古資料の一部には、作られた年代と地中に埋まった年代が大きく異なる場合があります。このような「伝世品」(でんせいひん)は、人びとのあいだで長期間伝えられた大切な宝物でした。

それらは「現代人にとっても、過去のモノの取扱いを復元するためのきわめて重要な手がかりとなります。銅鐸や銅鏡がいつ作られ、どこでどの程度の期間使われ、なぜ埋められたのかを問うことは、当時の人びとの思想や信仰、あるいは権威や権力の所在とその系譜を明らかにすることにつながります。この点についての理解が、日本列島における古代史像を左右する大問題となる。いっぽうで、直接的な証拠が少ないために、多くの考古学者が頭をなやませてきました。本展では、このような「伝世品」にかんする新たな視点からの解釈や自然科学的分析の成果、それらをめぐる熱い議論などについて検討し、弥生時代から古墳時代への移行の歴史的意義について考えます。

関連講演会

第1回 10月18日(土)

銅鐸の伝世と埋納 清水邦彦 氏 (島根大学 講師)

第2回 10月25日(土)

玉から「伝世」を考える 谷澤重里 氏 (奈良文化財研究所 研究員)

第3回 11月3日(月・祝)

「伝世鏡論」を再考する 岩本 崇 氏 (島根大学 准教授)

第4回 11月15日(土)

古墳時代における中国鏡の流通形態と二つの面期

辻田淳一郎 氏 (九州大学 教授)

第5回 11月22日(土)

三角縁神獣鏡の製作技術

宇野隆志 氏 (奈良県立橿原考古学研究所 主任研究員)

第6回 12月6日(土)

王莽の銭と鏡 岡村秀典 氏 (黒川古文化研究所 所長)

□ 時 間: 午後2時から午後4時

□ 参加費: 無料(要入館料)

□ 定 員: 各回とも130名

(当日先着順 開館時より整理券配付、開演30分前から開場・受付)

開会式

10月11日(土) 午前11時～

会期初日に開会式(終了後に展示解説)を実施。
一般の方のご参加を歓迎します。

□ 場 所: 当館1階エントランスホール

□ 参加費: 無料(入館料は必要です)

展示担当者による展示解説

毎週土曜日 特別展のみどころを解説します。

□ 時 間: 午前10時30分から(1時間程度 申し込み不要)

※10月11日のみ開会式終了後(午前11時40分ごろ)から

□ 参加費: 無料(入館料は必要です)

※各種イベントの文字通訳、場内誘導、車いす席の確保等について、サポートをご希望の方は、【開催日の3日前】までにお知らせ下さい。ご要望内容を検討のうえ、できる限りの対応を取らせていただきます。



兵庫県指定文化財
松帆6号銅鐸(A面・B面)・舌6(南あわじ市教育委員会)

ACCESS

電車でお越しの場合

■ JR阪和線「信太山」駅下車

西へ約 600m

■ 南海本線「松ノ浜」駅下車

東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】

JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おおとり)駅で普通電車にお乗換えください。一部に、鳳駅まで快速、その後各駅にとまる「区間快速」もあります(くわしくは時刻表をご確認ください)。大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。鳳から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。

車でお越しの場合

国道26号「池上町」交差点南西角
P普通車72台(無料)



ワークショップ/11月1日(土)

伝世!
つくろう家宝になる?!鏡

低い温度で溶ける金属を使って鏡を铸造します。

□ 時 間: ① 13:00~14:30 ② 15:00~16:30 □ 定 員: 各回10名

□ 参加費: 大サイズ1500円、中サイズ800円(別途入館料は必要です)

事前申込制です。参加希望の回、参加人数、当日の連絡先を記入して
info@yayoi-bunka.com へお申し込みください。

車弥呼と出会う博物館



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

指定管理者: AKN共同事業体

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27 TEL.0725-46-2162 FAX.0725-46-2165
https://yayoi-bunka.com/

